

令和3年第1回奥出雲町教育委員会定例会会議録

日 時 令和3年1月20日（水）
開 会 16時00分
閉 会 17時10分
場 所 仁多庁舎 3階 301会議室
出席委員 福田充雄教育委員 荒金勇吉教育委員 谷尻圭子教育委員
委員会事務局 永瀬教育魅力課長 吉川結婚子育て応援課長
岸本教育魅力課課長補佐 長谷川教育魅力課長補佐

松田教育長

12月30日及び1月7日から9日にかけて低温・降雪があった。1月7日に両中学校の始業式、1月8日にその他の小学校全ての始業式、両中学校と3つの小学校で給食を実施する予定にしていたが、天気予報を確認する限りそれは難しいと判断し、1月5日の段階で給食を予定していた学校にお願いをして1月8日の給食を取りやめた。その後、1月7日の天気予報で大雪が予想されたため7日の段階で8日の休校を校長会と協議の上決定した。この低温・降雪のため、仁多中学校、横田中学校、阿井小学校で屋内水道管の破裂があった。また、横田小学校の屋内運動場の上部の雪止めが雪ずりの関係で片側が全て落ちて破損した。この修理は業者に依頼したが、すぐに修理が出来ない状況であり、引っかかっている雪止めの対応については検討中。その他の被害は雪ずりによって横田中学校の後ろにあるビニールハウス、三沢小学校の後ろにある昔の鳥小屋が壊れたりした。各学校から様々な除雪の要望があり、建設課に依頼をして出来るだけ対応したが、特に登下校の部分で学校に不便をかけたと思っている。現在実施している目指す子ども像に係る後期学校訪問に協力していただき、感謝している。協議人数に関してはある程度絞っているが、結果として一時間しかない中で発言をしない人物がいなかったため、一人一人からしっかりと話を聞く機会になり、返ってこの形がいいのではないかとと思っている。現在、しっかりとした降雪があるため各学校がスキー教室を実施しているが、三成小学校、横田小学校、両中学校については最終的な判断は確認していないが、実施しないと聞いている。理由として昼食休憩所がコロナ対策で大人数の受け入れを断っており、全校が参加する三成と横田は昼食休憩所を利用できない。もう一つの理由として、スキー学校が解散したため、講師の確保が難しくなった。合わせて奥の谷リフトも昨年度から運行中止になっており、広島側の足らゲレンデリフトの運行も来年度までとなっている。聞いている範囲では、来年度以降は三井野原ドライブインの峠さんが個人で所有しているゲレンデと反対側の川西さんの畑のロープ塔は来年度以降も運行する予定だが、最近の児童・生徒はロープ塔の使用方法が分からないのではないかとと思っているため、来年度以降の開催は学校の判断に任せる。GIGAスクール構想によって今年度中に児童・生徒一人一人にパーソナルコンピュータを配布する予定で担当が動いている。今回はchrome book という Google 社の OS を搭載したコンピュータを用いて学習支援ソフトでのグループ学習やオンライン授業などコ

ロナの関係で必要だと想定されるものを入れる予定で動いていましたが、全国一斉での実施のためパソコンの需要が増え、当初の予定から納入時期がかなりずれて全て納入されるのは3月ぎりぎりになると聞いている。教育委員会では、今年度中に可能な台数を早めに納入してもらい特に中学3年生に1回は利用してもらいたいと考えている。合わせて、小学校1年生から中学校3年生まで使うパソコンのため、設定やセキュリティ、フィルタリング、使用の目安等についてどのような形が良いのか模索している段階。そのため、一週間ないし二週間程度になるかもしれないが、こちらが考えている設定で中学3年生に利用させ、様々な課題の洗い出しを行い、それを基に来年度以降の運用の調整を行う予定。令和2年度末の教職員の人事異動というところで令和3年度の教員数は学級数から出している。仁多中学校でも38人学級と言うことで質問があったが、来年度は高尾小学校が1学級減少、亀嵩小学校が2学級増加、阿井、鳥上、八川、馬木、仁多中それぞれ学級数が減少になるため、この数値はそのまま教職員数の減少ということになる。その次の年度、令和4年度の高尾小学校、鳥上小学校を1学級ずつ増加させているが、これは現在の住所から算出している。今年度、両小学校共に指定区域の変更があり、住所内の児童が別の小学校に通っているため実際はどうなるか分からないが、住所から言えば来年度の学級数は元に戻る。八川小学校、馬木小学校は単複を繰り返す学級のため、今年度は学級数が減っているが、来年度は1つ増やす形になる。来年の教職員の人数については町の教職員が若干減ることになっている。

※開会宣言 教育委員の出席者数を確認し、会議の成立を宣言

※会議録署名委員 荒金委員

次の報告について、説明をお願いします。

事務局

議案第1号 奥出雲町教育委員会障がい者活躍推進計画について

※資料により説明

一つの事業所として定める内容となっている。従来は、奥出雲教育委員会の事務局職員を職員として計上しており、教育魅力課と結婚子育て応援課を合わせて30名弱だった。全ての事業所について法定雇用率を満たす障害を持つ方の雇用が義務付けられており、今年の法定雇用率は2.4%、来年度以降は2.5%になる。従来の30名であれば障害を持つ方を雇用する必要は無かったが、令和2年4月から臨時職員、嘱託職員、学校に勤めている特別支援員、校務技士、学校司書、公民館館長、主事が1年間雇用される会計年度任用職員となったため職員数に計上されることになり、100人弱の雇用がある事業所になった。そのため令和2年度から障害を持つ方2名の雇用が必要となり、それに伴い活躍推進計画を定める必要が出てきた。島根労働局から指摘を受けながら計画を定めた。機関名は教育委員会、任命権者は教育長、計画期間は令和2年度から令和6年度の4年間ということになっている。教育委員会における障害者雇用に関する課題として令和2年11月30日現在の障害者雇

	<p>用率は1名雇用しているため1.05%であり、法定雇用率2.4%を未達成の状況になっている。法定雇用率を満たすための取組、障害を持つ方の職場の定着についての支援等も必要。奥出雲町の町長部局、役場については以前から法定雇用率の達成が必要な事業所のため、町としては既に計画を定めているが、町長部局と教育委員会とは別の事業所になるため別途計画を定める必要があった。目標、取り組み内容については、既に町で定められている内容に準じて教育委員会が作っている。毎年6月1日時点が法定雇用率の確認の基準日になっているため、それまでに雇用を達成できるように取り組む。任期途中で離職しないような支援も考えている。具体的な内容、取り組み内容については、既に実施している町長部局と連携を取りながら進めていきたいと思っている。その他の所で障害者の活躍できる場を拡大できるように配慮に勤めると書いてあるが、具体的な内容としてけやきの郷等への消耗品の発注等、教育委員会のみの雇用だけではなく、そのような機関との協力も含めた内容。</p>
松田教育長	質問、意見はあるか。
谷尻委員	活躍の基本となる職務の選出・創出・人事管理に挙げてある自力で通勤できる等、これらの項目に当てはまる人材は限られるのではないか。
事務局	現実的に勤める場所は学校現場ではなく、教育委員会事務局内になろうかと思っている。
福田委員	活躍の基本となる職務の選出・創出・人事管理に挙げられている項目はこのような条件を付けて採用を行わないという話。
谷尻委員	業務遂行に介助者がついていても、保護者などに送迎して貰ってもいいという事か。
教育長	はい。一番の問題は業務内容だと思っている。
福田委員	片手間のような仕事ではなく、やりがいのある仕事が必要。例えば会計年度任用職員であっても仕事の内容を配慮しなければいけない。
谷尻委員	個性を活かせる必要がある。
福田委員	事務局は大変だと思うが、必要な事なので頑張ってほしい。
松田教育長	他に質問、意見はあるか。
	(異議なしの声あり)
松田教育長	本案は提案のとおり可決された。

<p>事務局 松田教育長</p>	<p>報告第1号 令和2年度「18才で目指す子ども像」に関わる児童・生徒アンケートの結果について</p> <p>※資料により説明</p> <p>先般から行っている学校訪問の資料として「奥出雲町の教育魅力化「目指す子ども像」について」を提示している。様々な場所で説明をしているため、一回は聞いていると思うが、新たに幼・小・中・高の先生方へという項目を付け加えている。もともと「18才の目指す子ども像」は高校3年生の・・・を想定したものであり、スパンが長すぎるため学校単位では何をして良いか分かりづらいと思っていた。そのため、幼・小・中・高の先生方へという項目を追加した。分かった、できたという体験や自身の力の伸長の自覚、目標に向かって日々の努力などを通し、幼稚園については元気いっぱい、喜んで通園する子、小中高についてはこの学級で学んで良かったと思う子、この学校で学んで良かったと思う子の育成をお願いしている。校長会を通じて各学校へ周知を図っている。10月の校長会長で徐々に話していく予定だが、年度途中からになるため全てこの形になっていない。現在、仁多中学校はこれを意識した形で行っており、全てこの形でやっていくつもり。令和2年度18才の目指す子ども像のアンケートを去年の11月に行った。対象は町内の小学6年生、中学3年生、高校3年生。今回対象にした集団がそれぞれ小学5年生、中学2年生、高校2年生時に行ったアンケートの集計結果、令和1年度時の小学6年生、中学3年生、高校3年生を対象にしたアンケートの集計結果を載せている。同集団の時間経過での結果の変化と別集団との結果の違いを比較できるようにしている。別集団を比較するにあたり、当てはまる、どちらかといえば当てはまると回答した児童・生徒の割合を％で表示し、80％以下の項目に網掛けをしている。両集団とも生活習慣の早寝・早起き、朝ごはんなど規則正しい生活を心がけているという項目に課題が見られる。また、ふるさと教育では自分の住んでいるところや奥出雲町について、もっと知りたいと思うことがある、授業で、自分の住んでいるところや奥出雲町の課題を考えることがある等の項目に網掛けがあるため、町全体としてこの項目への取組が弱いのではないかと考えている。判断力、コミュニケーション力、学力育成では日本や世界の動きに関心があり、新聞やテレビ、インターネットのニュースを見ていると項目が全て80％を下回っている。同集団を比較するにあたり、R1年度のアンケート結果を100とし、100を下回った項目に網掛けをしている。特に顕著なのが小学6年生の判断力・コミュニケーション・学力育成の全ての項目が100を下回っており、数名だと思われるが、否定的な回答をした児童がいる。理由の一つとして4月初旬から新型コロナウイルスの関係で学級閉鎖等が行われたため授業時間が不足し、知識尊重という訳ではないが、授業計画を遂行しなくてはいけないという意識が小学校の教職員に強く働いたためだと仮定している。中学生、高校生はオンライン等で授業が出来るが、小学生はそれが難しいと思われ、このような結果がコロナの影響として出たと思っている。中学校毎に一貫した育成策を策定し、家庭・地域と連携した取り組みを推進するように依頼をしているが、客観的なデータがないため難しいと聞いている。そのため、あくまで子どもたちの意識ではあるが、</p>
----------------------	--

事務局	<p>仁多地域、横田地域毎に小学校、中学校のアンケート結果を集計・比較した。わずかな差ではあるが、あてはまると強い肯定的評価をしている子どもが仁多中学校校区に多い印象を受けた。多くの項目で両中学校校区の結果と両中学校の結果が似通った傾向を示しており、小学校からの取組を改善してもらう必要があるのではないかと考えている。これは1月の校長会で同じ資料と説明を行った。この地域別の資料は、小学校・中学校の校長先生のみ配布をしており、高校には配布していない。このアンケートは総合計画の評価の指針になるため、項目を1つ追加して継続的に行う予定。今回の結果は80%を基準としているため、相対的には悪くないと認識している。</p> <p>その他について</p> <p>卒業式</p> <p>今年度の卒業式は、小学校は来賓を呼ばないという校長会の決定があった。中学校は検討中。</p> <p>職員人事日程</p> <p>職員人事日程は、現在県の方で作業を行っている。2月8日に出入り表が事務所から教育委員会に送付されるため、2月9日に内申を確認して事務所に提出をする。3月1日に転居等の内示があり、3月15日に正式な内示が出る予定。記者発表は23日、新聞掲載は24日の予定にしている。</p> <p>学校再編について</p> <p>11月12月に準備会として各校区へ行き、そこで出た保護者、住民からの意見をまとめた表を配布している。この内容は、発言した校区を伏せた上、全校区で共有したいと思っている。1月中旬から下旬にかけて初回の協議会を行えるように各地区に依頼をしており、布勢地区以外は組織が立ち上がっているが、庁舎内の調整が遅れている状況。再編とは直接関係ない部分だが、現在の学校施設、社会教育施設、公民館施設についても再編後どのように扱うか具体的に示すべきだと思っている。……との調整が出来ておらず、この整理が出来た後、1回目の協議会の開催に向けて動く予定にしている。出来るだけ早くとは思っているが、1月中の開催は難しいと思っている。仁多統合小学校の建設予定場所の提示を初回の協議会で提示できないと思っているが、3月までに町としての提案を示せばよいと思っている。</p>
松田教育長	<p>1月中に校區別協議会の開催を予定していたが、町長部局との調整が終わらなかった。通学手段は、5年後の運転手の確保等の課題は残っているが、現在のバス路線をそのまま利用することにしている。バス通学の基準を3キロとしているが、これは現小学校で徒歩通学をしている児童を基準としている。現横田小学校から半径3キロの円を引いた際、一部例外はあるが、この範囲の児童は徒歩で通学しており、現三成小学校も同様。これを原案として協議会に提示した際、もっと短くしてほしい等の意見が出てくるとは思うが、議論するに当たり何かしらの基準が必要なため</p>

	これを提示する。高尾小学校についてはバス路線がないため、何かしらの対策が必要。放課後児童クラブについては保護者の希望した施設で全ての児童を受け入れるのはキャパティーマの問題があるため、資料の案を提示している。拠点施設等は教育委員会のみで判断はできない。仁多統合小学校の建設予定場所が一番の問題あり、混乱を避けるために担当者が対応を行っている。
福田委員	バス停の雪、社会、変わった、親の理解、人数、除雪早い、時差、細かな事、逆提案
谷尻委員	除雪をしている、してくれないというのはちょっと、時代の流れ
福田委員	親と一緒に知恵
谷尻委員	布勢地区、町議、報告、布勢小に入らなかったら、耐震やらない、再編が
教育長	行き違い、教育委員会だけではない、町部局、説明、耐震、財政的に難しい、公民館、老朽化、言った、言わない
	その他は
福田委員	管理職試験
教育長	何人かが通っている、教頭1名搭載、校長2名搭載、1年待機の雰囲気、出身、あき、任用は別 講師複数人搭載、出雲管内、60数人採用、出身では受けれない、初任研、入ってくる、特別学級、複式学級、難しい、通学羽状5、6少ない、むりやり出すことはできない、引き受けさせる
谷尻委員	幼稚園人数、定員割れ
事務局	定数割れがある、八川変更、あとは変更なし
教育長	会場は全て鳥上なのか。
事務局	今後出生少なくなる、施設の在り方、検討
谷尻委員	保育所、0歳、基板、お金、3人ほしい
事務局	出生数43名

教育長	小中学校来年度、コロナ、転入、仁多中3年はなかった、1名増なし
事務局	メンタル、講師
	全国大会激励、全国規模、見直し、全中スキー中止
松田教育長	他に意見がないため議論を終わる
	< 次回定例会は2月9日（火）午後1時～ >
	<p style="text-align: center;">会 議 録 署 名</p>
署名委員	荒金 勇吉
教育長	松田 武彦

